

第59回 学術研究論文発表会プログラム

第2日目 11月2日(土)

	第Ⅰ会場 1階 11会議室	第Ⅱ会場 2階 国際会議室	第Ⅲ会場 2階 21会議室CD	第Ⅳ会場 2階 21会議室AB	第Ⅴ会場 2階 22会議室	第Ⅵ会場 3階 32会議室	第Ⅶ会場 3階 33会議室
9:40		<p>宋 俊煥(山口大学)</p> <p>11. 廃校小中学校の活用状況と空間指標の関連および活用の要因分析 高知大学 坂本 淳</p> <p>12. 人口規模の異なる都市を対象とした都市的包容力と人口密度との関連性 岡山大学大学院 小寺 啓太</p> <p>13. 公立学校建て替えを伴う再開発事業の実態と課題 東京大学 萩谷 洋紀</p>	<p>後藤 純(東海大学)</p> <p>24. 組織体制と構成員の選出方法から見る地域運営組織の担い手の現状について 合同会社Roof 佐伯 亮太</p> <p>25. 新概念を用いたまちづくり活動の「新鮮味」がもたらす新たな参加に関する研究 徳島大学大学院 松本 卓也</p> <p>26. 地域事業者における関係人口活用の継続プロセスに関する研究 大阪大学 関根 仁美</p>	<p>福田 峻(岡山大学)</p> <p>37. 過去・将来を一元化した人口変動パターン抽出の試み (株)竹中工務店 清水 宏樹</p> <p>38. 代表交通手段にみる関係人口 筑波大学大学院 森 成諒</p> <p>39. 原子力災害による避難者等の受け入れに伴う人口および都市構造の変化について 福島工業高等専門学校 齊藤 充弘</p>	<p>10:00</p> <p>今村 洋一(檀山女学園大学)</p> <p>48. 後藤新平による植民地市街地の計画への関与を再考する 横浜市 五島 寧</p> <p>49. ドイツにおける近年の高層住宅開発事業に対する都市計画的対応の現状と課題 兵庫県立大学 太田 尚孝</p>	<p>高木 悠里(大阪公立大学)</p> <p>59. かわてらすを含めた水辺建築と水辺飲食店の景観に関する研究 芝浦工業大学大学院 正親 昂弥</p> <p>60. 準景観地区制度による周辺環境の保全の実態と課題に関する研究 同志社女子大学 麻生 美希</p> <p>61. 京都市北嵯峨の田園景観保全を目的とした資源循環型事業の合意形成プロセス 京都市役所 渡邊 大郎</p>	<p>須永 大介(麗澤大学)</p> <p>71. 御堂筋における道路空間再配分が来訪者数および回遊性に及ぼす影響に関する研究 京都大学大学院 高石 俊輔</p> <p>72. 在宅勤務に関する勤務意向とオフィス通勤時の目的の関連性に関する研究 早稲田大学理工学術院 小林 竜輔</p> <p>73. Advanced Air Mobilityの導入が都市間の移動コストに与える影響 埼玉大学大学院 須ヶ間 淳</p>
10:40	休 憩						
10:50	<p>石井 儀光(国土技術政策総合研究所)</p> <p>1. 空き家の発生分布と都市環境に関する時空間解析 岡山大学大学院 高橋 紘輝</p> <p>2. 都市活動センター検出において公共施設での活動を考慮することの重要性 東京工業大学 ポラティンスキー バディム</p> <p>3. アウトカムに依存するサンプリングバイアスに着目した因果推論手法 (株)日立製作所 石井 健太</p>	<p>宋 俊煥(山口大学)</p> <p>14. 都市再生事業による都市インフラ課題解決の現状と課題 東海大学大学院 長岡 拓</p> <p>11:10</p> <p>益子 智之(早稲田大学)</p> <p>15. 東京都区部における用途地域による最低敷地面積規制の適用実態と課題に関する研究 東京大学大学院 青木 公隆</p> <p>16. 地場工務店の地域社会への貢献活動における社会的指向と経済的指向の共存 大阪大学大学院 伊丹 絵美子</p>	<p>荒木 笙子(岩手大学)</p> <p>27. 大阪市の小学校廃校後の跡地活用における住民参加による議論と跡地活用計画への反映に関する考察 龍谷大学大学院 久保田 夏樹</p> <p>28. 住宅建替えと一体的に再整備された街区公園の維持管理活動を通じたコミュニティ形成に関する研究 筑波大学大学院 大森 聡</p> <p>29. 岩手県釜石・大槌エリアにおけるコミュニティビジネスを通じた復興まちづくりの成果と可能性 東海大学 後藤 純</p>	<p>福田 峻(岡山大学)</p> <p>40. 準DIDの空間特性の実態と計画立案における課題に関する研究 長岡技術科学大学 丸岡 陽</p> <p>41. 介護事業所の立地と職員の通勤利便性 茅ヶ崎市 山口 行介</p>	<p>神山 藍(東洋大学)</p> <p>50. 帝都復興小公園の実現過程に関する研究 東京大学大学院 中川 恵</p> <p>51. カミロ・ジッテの思想的変遷に関する研究 JR東日本 渡邊 智也</p> <p>52. 水害リスクを考慮した居住誘導区域の設定と防災指針の策定に関する研究 兵庫県立大学大学院 馬場 美智子</p>	<p>矢吹 剣一(横浜国立大学)</p> <p>62. 近代化過程の土地利用変化を映す惣構・用水の景観にみる藩政期の空間構造 金沢市 中谷 裕一郎</p> <p>63. 空き家バンクデータを用いた歴史的建築物の改修・活用の実態分析 石川工業高等専門学校 豊島 祐樹</p> <p>64. 地方都市における公共サインの情緒性を考慮したデザイン要件の検討 茨城大学 一ノ瀬 彩</p>	<p>梶原 弘之(山口大学)</p> <p>74. 立ち寄り行動を促すワンショットTFPの提案とその適用 岡山大学大学院 福島 海</p> <p>75. 子育て予備軍としての大学生に対する子ども連れ外出教室の効果 宇都宮大学 大森 宣暁</p> <p>76. 多期間展開ゲームに基づく立地行動モデルを用いた事前復興インセンティブの最適設計 東京大学大学院 増田 慧樹</p>
11:50	昼 食						

13:10	<p>田中 健一(慶應義塾大学)</p> <p>4. 直線距離と道路距離に基づく東京23区の消防活動困難区域とその変化 千葉工業大学 薄井 宏行</p> <p>5. 飲食店の立地・開業の規定要因に関する研究 東京大学 菊地 穂澄</p> <p>6. 都市活動調査からみた移動とオンライン活動の実態に関する基礎的分析 宇都宮市 高秀 賢史</p>	<p>福本 優(兵庫県立人と自然の博物館)</p> <p>17. 商業地域内の住環境保全を目的とした建築形態規制に関する研究 (国研)建築研究所 中野 卓</p> <p>18. 多拠点生活者による地域の組み合わせ実態とその特徴 三菱地所(株) 奥石 彩花</p> <p>19. 地域活動拠点における複数展開の過程とその要因に関する研究 横浜国立大学 森田 彩日</p>	<p>五十石 俊祐(北方建築総合研究所)</p> <p>30. 区分所有マンションにおける修繕積立金と経年減価の関係 横浜市立大学 鈴木 雅智</p> <p>31. 住民主体で進めるための住宅地のエリアマネジメントの課題と求められる支援体制 横浜市立大学 齊藤 広子</p> <p>32. 広域的な立地適正化の方針に関する計画間関係 三井ホーム(株) 武藤 勝一</p>	<p>石神 孝裕((一財)計量計画研究所)</p> <p>42. 高齢者の生涯学習への活動機会の評価と施設機能・公共交通のあり方の考察 千葉大学大学院 池 豪介</p> <p>43. APC分析による全国市町村の就学・就業・転職による移住の年齢別傾向の把握 (国研)国立環境研究所 金 晃敏</p> <p>44. なぜ歩いていけるにもかかわらず自動車を利用するのか 筑波大学大学院 室岡 太一</p>	<p>永瀬 節治(和歌山大学)</p> <p>53. 昭和初期の仙台における風致地区の指定と都市計画上の位置づけ 東急(株) 齋藤 駿介</p> <p>54. 近代都市計画制度の発展過程における工場緑地の理念の変化 千葉大学大学院 村上 善明</p> <p>55. 大正新教育実践校・成蹊学園による校地および周辺宅地開発 東京大学大学院 玄田 悠大</p>	<p>三浦 詩乃(中央大学)</p> <p>65. 市街地における中世古道の残存状況と沿道土地利用からみる景観の実態 横浜国立大学大学院 小崎 大耀</p> <p>66. ウォーカブルなまちづくり推進時における目標及び目的設定のあり方に関する研究 横浜国立大学 金 銀英</p> <p>67. 「まちを見る感性」が地域愛着及び主観的幸福感に与える影響 富山大学 安倍 ひより</p>	<p>吉田 樹(福島大学)</p> <p>77. 横浜市地域交通サポート事業の下での地域交通導入活動発生及び導入実現の要因に関する研究 横浜市 森 直之</p> <p>78. 交通手段選択モデルによるAIオンデマンド交通の利用意向の分析 東京大学 羽佐田 紘之</p> <p>79. 家計負担から見る移動のアフオーダビリティ 筑波大学大学院 川合 春平</p>
14:10	休 憩						
14:20	<p>田村 将太(広島大学)</p> <p>7. 時空間データにみる新たな地域防犯活動としての「ながら見守り」の特性 パシフィックコンサルタンツ(株) 香嶋 愛美</p> <p>8. 東京区部における業種構成・滞在パターンに基づく商業集積地の類型化と滞在移動特性の分析 筑波大学大学院 竹内 真雄</p> <p>9. ポストコロナにおけるオフィス回帰の実態とその特性 筑波大学大学院 小林 泰輝</p> <p>10. 立ち寄り利用型施設の配置が通過量分布に与える影響 慶應義塾大学大学院 金子 大悟</p>	<p>福本 優(兵庫県立人と自然の博物館)</p> <p>20. 住居専用地域に立地する非住宅系用途の実態に関する研究 東京大学大学院 松本 望実</p> <p>21. 東京都区部の大規模開発集積地における従業者・来街者の回遊行動の傾向の変化に関する研究 東日本旅客鉄道(株) 天谷 太一</p> <p>15:00——</p> <p>泉山 壘威(日本大学)</p> <p>22. 道路距離・時間距離・交通規制を考慮した道路網構成の特徴と市街地の変容の関係性の研究 佐賀大学 加藤 晴</p> <p>23. 制度草創期における歩行者利便増進道路「ほこみち」の全国的な指定・運用の現状に関する研究 大阪公立大学大学院 高木 悠里</p>	<p>松川 寿也(長岡技術科学大学)</p> <p>33. 計画的戸建住宅地における駐車場シェアの導入意向と活用可能性に関する研究 (株)都市環境研究所 佐藤 耀</p> <p>34. 住民と専門家の境界領域にいる「ローカリスト」の沿線開発への参画とその課題 早稲田大学 上原 祐輝</p> <p>35. ハザードマップが開発・建築行為に与えた影響の経年的変化に関する研究 東北大学大学院 重枝 隆太</p> <p>36. 都市計画法第34条第11号に基づく条例の廃止状況に関する研究 福山大学 大畑 友紀</p>	<p>土屋 泰樹(富山大学)</p> <p>45. 地方都市中心市街地の居住環境に公園緑地の分布が与える影響に関する分析 鳥取大学 青木 智男</p> <p>46. 地区別将来コスト推計による東京圏における水道事業の持続可能性に関する研究 麗澤大学 持木 克之</p> <p>47. 徒歩圏の施設立地特性にみる居住満足度の要因分析 筑波大学 松浦 海斗</p>	<p>石原 凌河(龍谷大学)</p> <p>56. 東日本大震災後に創設された商業集積支援策が事業者の生業の継続にもたらす効果と課題 EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株) 千葉 優美子</p> <p>57. 東京23区における住宅形態ごとの災害への準備状況と大震災発生後の避難所の選択意向に関する研究 横浜国立大学 木村 祐輔</p> <p>58. 様々な曝露量評価を考慮した総合的土砂災害対策手法の提案 国土交通省 山内 瑞樹</p>	<p>堀 裕典(岡山大学大学院)</p> <p>68. 奈良県宇陀市室生集落における地形の生み出す景観特性に関する研究 東京都 須崎 心一</p> <p>69. 東京内湾における祭礼の場としての水際空間の変容に親水空間の整備計画が与えた影響 (株)オリエンタルコンサルタンツ 唐木田 耕大</p> <p>70. 認知オフローディングによる街並み記憶の抑制及び促進 パシフィックコンサルタンツ 野添 愛美</p>	<p>新保 奈穂美(兵庫県立大学)</p> <p>80. 将来の気候変動を考慮した都市緑地の熱環境改善効果に関する研究 広島大学 杉本 晴太</p> <p>81. 市民緑地契約制度を用いた緑地における維持管理主体の拡充に関する研究 東京大学 高井 優紀</p> <p>15:00——</p> <p>石神 孝裕((一財)計量計画研究所)</p> <p>82. 地方都市中心市街地の大型商業施設開業前後での行動分析 北海学園大学 鈴木 雄</p> <p>83. COVID-19の蔓延によるテレワーク導入が活動時間と場所の選択に与えた影響 東京大学 倉澤 龍平</p>
16:00	ワークシヨップ						
18:30	憩 親 会						

第3日目 11月3日(日)

	第I会場 1階 11会議室	第II会場 2階 国際会議室	第III会場 2階 21会議室CD	第IV会場 2階 21会議室AB	第V会場 2階 22会議室	第VI会場 3階 32会議室	第VII会場 3階 33会議室
9:20	<p>関口 達也(京都府立大学)</p> <p>84. 歩行による健康効果に着目した都市施設配置モデル 慶應義塾大学大学院 栗田 治</p> <p>85. 都市機能誘導区域から見た15分都市 筑波大学大学院 久米山 幹太</p> <p>86. ダイアリー調査にもとづくフレキシブルオフィス利用パターンの時空間分析 東京大学大学院 松井 研人</p>	<p>榎山 真人(東京女子大学)</p> <p>95. 被災地における地域デザインセンターを通じたコミュニティ復興の変遷分析 日産自動車(株) 曾我 力</p> <p>96. 居住地周辺における空間体験が居場所の認知へ与える影響 早稲田大学 山岸 颯汰</p> <p>97. 我が国の地方都市における居住と都市サービス施設の近接性の成立状況と立地適正化計画の効果についての研究 建設技術研究所 佐藤 真希</p>	<p>馬場 弘樹(中央大学)</p> <p>105. 福島原発被災地域における建築動向と土地利用変化に関する研究 仙台市役所 庄司 有希子</p> <p>106. 自主集団移転の導入経緯と移転実態および住環境の評価に関する研究 岩手大学 荒木 笙子</p> <p>107. 携帯電話GPSデータを用いた生活行動の分析によるコンパクトシティの評価に関する研究 早稲田大学大学院 村上 洸樹</p>	<p>高柳 百合子(富山大学)</p> <p>115. 農住混在地域における農地の利用状況や隣接環境および農地所有者属性と営農意向の関係性 東京大学大学院 ウォルシュ 禰</p> <p>116. 社会変化に対応した市町村都市計画マスタープラン策定の方向性に関する研究 東京大学大学院 今場 雅規</p> <p>117. 人口減少下における人口変動の地理的分布の実態把握とその要因分析 広島大学 秋山 結衣</p>	<p>坂本 淳(高知大学)</p> <p>126. 大都市都心部のエリアマネジメントにおける「ビジョンマネジメント」の実態及び方法論 清水建設(株) 一之瀬 大雅</p> <p>127. 関東地方における建物データを用いた洪水浸水想定区域における建物の建築動向に関する研究 日本エ工(株) 坂橋 康太</p> <p>128. 東日本大震災の被災地域における民間診療所の移転再建に関する研究 (株)サーベイリサーチセンター 福島 麻斗</p>	<p>杉本 興運(東洋大学)</p> <p>136. 大都市郊圏外部におけるアウトドアブーム下でのキャンプ場整備の実態と特徴に関する研究 東京大学大学院 坂本 慧介</p> <p>137. 和紙産地における伝統的な生産プロセスの観光活用がその保全に与える影響に関する研究 パシフィックコンサルタンツ(株) 若佐 栞</p> <p>138. 場の提供型マルシェによる地域創生の副次的効果に関する研究 立命館大学 村上 翔一</p>	<p>有賀 敏典(千葉大学)</p> <p>146. LRTの整備効果が移住意向に与える影響に関する研究 早稲田大学大学院 矢吹 碧衣</p> <p>147. トリップ目的別にみる自動車CO₂排出量の差異 筑波大学 松場 拓海</p> <p>148. LiDARを用いた歩行行動調査による街路上休憩空間の歩行・滞留行動分析に関する研究 東京大学大学院 井桁 由貴</p>
10:20	休 憩						
10:30	<p>鈴木 達也(香川大学)</p> <p>87. 東京23区におけるアクセシビリティ指標としての鉄道移動時間データと直線距離の比較 東京大学 西 颯人</p> <p>88. 部分復旧が想定される中での緊急時配送計画について 神奈川工科大学 塩野 直志</p> <p>89. 路上鑑賞を前提とする都市型花火の可視性分析 パナソニック(株) 曾 子芸</p> <p>90. 乱横断抑制を目的とした横断歩道配置モデル 慶應義塾大学大学院 副島 夕雅</p>	<p>高野 裕作((一財)交通経済研究所)</p> <p>98. 川崎市「資源ごみ持ち去り禁止条例」制定をめぐる経緯と課題 (株)オオバ 和田 倫典</p> <p>99. 中小ビル街区の脱炭素化に向けた共同建替えによる環境性向上効果の一考察 千葉大学 関根 啓太</p> <p>11:10 _____ 池添 純子(徳島文理大学)</p> <p>100. テレワーカーおよび職住近接型通勤者の余暇時間に関する研究 東京大学大学院 岡田 潤</p> <p>101. 空き家問題に対するエリアマネジメントを行う現代版「家守」の役割と課題 東京大学大学院 新 雄太</p>	<p>伊 莊植(横浜国立大学)</p> <p>108. 総合計画・都市計画マスタープランに基づくコミュニティプランの計画体系と構成・形式の傾向 草加市 芝田 昌明</p> <p>109. 中学校における不便性を取り入れた『地域貢献プログラム』による地域意識形成効果 近畿大学 小池 博</p> <p>110. 低未利用地の利活用を目的とする市街化調整区域地区計画の運用実態に関する研究 フリーランス 内田 匠</p> <p>111. 技術的助言を受けた洪水浸水想定区域に対する開発許可条例の見直しに関する研究 関西電力(株) 中井 喬也</p>	<p>高澤 由美(山形大学)</p> <p>118. 日本における航空ネットワークの歴史の変遷とその特性 岡山大学 福田 峻</p> <p>119. 欧州連合の「統合的かつ持続可能な都市開発戦略」に関する研究 (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 太田 和</p> <p>120. 都市計画における女性参画状況に関する研究 富山大学 土屋 泰樹</p> <p>121. 水素ステーション整備と土地利用の関係に関する研究 千葉大学 清水 猛斗</p>	<p>近藤 民代(神戸大学)</p> <p>129. 高校生における地域特性に応じたシビックプライドの醸成要因と将来の定住意識への影響 富山大学 森 豪大</p> <p>130. 岩手県上閉伊郡大槌町安渡地区における復興まちづくりの現状と課題 東海大学 手塚 悠希</p> <p>131. 東京の木造住宅密集地域の縮小と「整備地域」に関する実態考察 東京都立大学 市古 太郎</p> <p>132. 東京都市圏における富士山噴火による降灰の影響評価と対策の検討 東京大学大学院 廣井 悠</p>	<p>菊池 佐智子((公財)都市緑化機構)</p> <p>139. 都市開発に伴う周辺建築物から見る旧芝離宮恩賜庭園の俯瞰景に関する研究 東京都庁 石綿 優太郎</p> <p>140. 大都市圏周縁部におけるグリーンインフラの創出シナリオが内水氾濫抑制効果に与える影響 九州大学大学院 顔 キン澁</p> <p>141. 神戸市・三宮地区における緑地と海風に着目したMSSGモデルによる熱環境シミュレーション 神戸市役所 中元 董</p> <p>142. 地域社会環境を考慮したグリーンインフラの導入シナリオ作成とその評価 広島大学 森本 匠</p>	<p>柳沼 秀樹(東京理科大学)</p> <p>149. グラフ上の複数拠点を多重に連結する辺素なシュタイナー木対の存在に関する基礎的考察 元九州大学 外井 哲志</p> <p>150. 複数の意思決定主体者による会食場所選択のモデル化 東京大学大学院 岡村 幸樹</p> <p>151. BLE観測の不確実性を考慮した屋内3次元経路選択モデルの推定 東京大学大学院 松永 隆宏</p> <p>152. 区分線形近似モデルを用いた公共交通需要の変動分析 鳥取大学大学院 細江 美欧</p>
11:50	昼 食						

13:10

<p>田村 一軌((公財)アジア成長研究所)</p> <p>91. 河川の造形の視覚特性に着目した河川の都市化形態分類 東北公益文科大学 佐藤 康一</p> <p>92. 大規模人流データを活用した駅徒歩圏の広がりと分布の計測 東京大学 長谷川 大輔</p> <p>93. 名古屋圏における人口減少と住宅資産価格の関係性 東京都市大学 岡澤 由季</p> <p>94. 小地域人口の年齢構成類型とその遷移から見た安定性分析 筑波大学大学院 飛松 涼太</p>	<p>辻本 乃理子(流通科学大学)</p> <p>102. 民間都市開発で整備された地下通路のマスタープランにおける位置づけと実際の整備状況に関する研究 東京都 村上 清徳</p> <p>103. 小規模製造業集積地域におけるものづくり拠点の整備実態に関する研究 (株)都市環境研究所 中村 亮</p> <p>104. まちなか広場の運営形成プロセスにみる広場の主体づくりとその体制の変化 筑波大学大学院 北橋 主税</p>	<p>杉田 早苗(岩手大学)</p> <p>112. アメリカの雨水管理法制による開発行為等への雨水流出抑制の義務づけ 関東学院大学 釘持 麻衣</p> <p>113. 多様な主体が関わる出産祝いプロジェクトの成立経緯と参加主体にもたらす変化に関する研究 筑波大学 石川 夏帆</p> <p>114. 首都圏郊外におけるリノベーションまちづくりの成果と課題に関する研究 筑波大学 鳩貝 優太</p>	<p>森田 棕也(徳島大学)</p> <p>122. 農村集落における地域共同活動の経験が新しい共助への関心に与える影響の分析 鳥取大学 山口 由美子</p> <p>123. 地区レベルの実践と都市の計画をつなぐ計画論 奈良文化財研究所 小浦 久子</p> <p>124. 神戸市市街化調整区域における「人と自然との共生ゾーン」の土地利用実態に関する研究 大阪市立大学 李 書陽</p> <p>125. 離島における都市計画区域指定と土地利用規制及び市街地開発事業の現状に関する研究 東洋大学 志摩 憲寿</p>	<p>大津山 堅介(東京大学)</p> <p>133. 復興まちづくり訓練手法を援用した住民主体の水害防災まちづくりに関する検討 筑波大学 松岡 あやめ</p> <p>134. 子供の前兆事案被害情報の主体間共有の実態 京都市 今井 巧</p> <p>135. ベトナム・ハノイの市場化した団地内ストリートの利用実態に関する研究 兵庫県立人と自然の博物館 福本 優</p>	<p>寺田 徹(東京大学)</p> <p>143. 都市住民の現状関与度と将来関与度に基づく農の関係モデル (株)オリエンタルコンサルタンツ 高島 宗一郎</p> <p>144. 都道府県営都市公園における指定管理業務の評価に関する研究 岡山大学 桑田 恵伍</p> <p>145. 全国45公園におけるPark-PFIの適用傾向及び課題 日本大学 菅原 悠希</p>	<p>鈴木 美緒(東海大学)</p> <p>153. 東京23区における自転車通勤の交通量分布と走行環境の関係に関する研究 アクセンチュア(株)ストラテジー&コンサルティング 西谷 崇毅</p> <p>154. ゾーン30プラスにおける物理的デバイスの整備傾向 (公財)豊田都市交通研究所 三村 泰広</p> <p>155. 衛星画像情報を用いた歩行者-自動車の経路選択不均衡モデル 東京大学 小川 大智</p>
---	--	---	--	--	--	--

15:00

都市計画報告会

閉 会 (各会場にて)